

2018年1月23日、パリ

カントリーリスク・コンファレンス 2018

2018年：好転は続くも企業のリスクは増大

カントリーリスクおよびセクター別リスクに関する年次会議で、コファスは、2018年の主要な世界経済の動向について、見解を示した。

2018年、世界の成長は急伸

保護主義の脅威で始まり、数々の選挙や政治危機による中断をはさんだ2017年だったが、経済上、嬉しい驚きがあった。2016年は25カ国が不況で年を終えたが、昨年、不況で年を終えた国は13カ国のみだった。世界貿易は大きな成長（コファスの見通しでは、2016年の1.5%の成長に続き、2017年は4.4%の成長）を見せた。保護主義に伴うリスクは目に見える形では現れなかった。世界中で保護主義的措置の件数は、米国で増えたものの、2016年の374件から2017年は283件となった。米国、欧州、いくつかの新興国で、商品価格が徐々に上がったことに支えられて、業績が予想を上回った。このため、**ブラジル (B)** および**エジプト (B)** の国別評価が引き上げられた。

貿易が伸びた国の中で、国別評価が高くなった国は、**オランダ (A1)**、**韓国 (A2)**、**台湾 (A2)**、**シンガポール (A2)**、**香港 (A2)** 等である。**ギリシャ**は、消費者マインドや企業の景況感が回復し、C(高リスク)からB(やや高リスク)になった。

政治的リスクはまだ高いが、コファスは、ロシアの持ち直しと欧州の回復に続いて成長を見せている**ウクライナ (現在 C)**、**モルドバ (C)**、**ジョージア (B)** の評価を引き上げた。**カザフスタン (B)** は、石油増産と中国の「一帯一路」構想に関わる公共投資の増加の恩恵に浴している。

2018年、世界の成長はピークに達する可能性がある（コファスの見通しでは3.2%の成長）。新興国では、回復の勢いが増し（コファスによると4.6%の伸び）、しかも景気回復がより多くの国で同時に起こることが期待される。先進国では、債務超過の減少が続くが、多くの国で危機前の水準に戻っているため、減少のペースは落ち始めている（2017年は6%の減少だが、2018年は1.8%の減少に留まると予想される）。英国は政情不安が長引き、債務超過は増えるだろう（コファスによると10%の増加）。

2018年の3つの主要リスク

この世界的な景気好転にもリスクはある。コファスは3つの主要リスクを警告する：

1. 先進国における供給制限の高まり

2018 年後半から、景気加熱の問題が特に先進国の企業に影響を与えるだろう。ドイツ、米国、中欧における失業率の低さは、歴史的に、企業が生産能力の上限に近付いていることを示す。フランス企業も、この供給に関わる問題に直面している。失業率が高いものの労働力は不足しており、これが企業の成長を制限しかねない。

2. 中国に残る銀行のリスク

公共投資によって 2016 年、2017 年は一時的に隠れていたが、中国経済の構造的な弱さが再び表面化しつつある。鉄鋼業の過剰生産能力、銀行融資の形の企業債務の急増、シャドーバンキングである。銀行、特に中小規模の銀行で、リスクが非常に高まっている。

3. 選挙が続く中で目が離せない政治的リスク

2018 年は政治的リスクが再び高まる可能性が払拭できない。選挙が続く年を迎えて、新興国ではまだ社会に不満が渦巻いており、コファスの社会不安リスク指数は、イラン（71%）、レバノン（65%）、ロシア（64%）、アルジェリア・ブラジル・メキシコ（各 61%）で高い。中東では、原油価格の乱高下でこのリスクがさらに高まる。サウジアラビアも社会不安リスクが高く（65%）、コファスは同国の国別評価を C に引き下げた。

英国の自動車産業を除き、いくつかのセクターで再び持ち直しの動き

企業が、世界のリスクについて、さらに深く詳細に理解できるよう、コファスは、世界の GDP の約 85% に相当する 24 カ国の 13 セクターにおける信用リスクを評価する。

2018 年は、18 セクターで評価の変更があったが、うち 15 セクターについてはプラスの変更である。冶金セクターは、金属価格が回復したことで最も好調である。リスクは、イタリア、インド、トルコでは「超高リスク」ではなく「高リスク」、オランダでは「中程度のリスク」と判断される。エネルギー・セクターは、生産増と価格上昇で、カナダ（現在「高リスク」）、米国（「中程度のリスク」）で改善している。フランスでは、建設セクターの評価が 9 カ月で二度目の変更によって「低リスク」になった。

英国の自動車産業は、他の西欧諸国と歩調が合っていない。まず、難しい EU からの離脱リスクの負の兆候、つまり世帯や投資家のマインドが下がったことによる投資、生産、売上げの落ち込みで、同セクターは「高リスク」と評価されることになった。

コファスのカントリーリスク評価（160 カ国）は、8 段階評価であり、以下の順にリスクが高まっていく。A1（非常に低いリスク）、A2（低いリスク）、A3（かなり容認できるリスク）、A4（容認できるリスク）、B（相当のリスク）、C（高いリスク）、D（非常に高いリスク）、E（きわめて高いリスク）



P R E S S R E L E A S E

コファスのセクターリスク評価（世界の GDP の約 85%に相当する 6 地域 24 カ国の 13 セクターを対象とする）は、「低いリスク」「中程度のリスク」「高いリスク」「非常に高いリスク」の 4 段階で順位付けをしている。

連絡先:

ジョナタン・ペレス - Tel. 03 5402 6108 - jonathan.perez@coface.com

コファスとは

取引信用保険で世界有数の企業であるコファス・グループは、国内及び輸出取引において、取引先の債務不履行のリスクからお客様を守る為のソリューションを、全世界の企業に提供しています。2015年には、4,200名のスタッフのサポートによって、コファス・グループは14億4900万ユーロの連結売上高を計上しました。100か国における直接的及び間接的なプレゼンスによって、コファスは50,000を超える企業の200か国以上にまたがる取引をカバーしています。コファスでは、企業の決済動向に関する独自の知見と、660名のアンダーライターと信用調査のエキスパートの専門知識に基づいた、160か国に及ぶントリー・リスク評価を四半期毎に発表しています。

www.coface.com

コファスSAはユーロネクスト証券市場のA部にて上場しています。

ISINコード : FR0010667147 /ティッカーシンボル: COFA

